

2. シンポジウム

阪急長岡天神駅周辺まちづくりを考えるシンポジウム 開催報告

日 時：平成30年7月15日(日) 午前9時30分～午前11時30分

場 所：バンビオ1番館 メインホール

参加者：約130名

■ プログラム

1. 基調講演 「駅中心のまちづくりに向けて一駅舎・広場・街路のデザイン」

講 師：及川 清昭 教授（立命館大学 理工学部）

2. テーマ説明 「長岡天神駅周辺まちづくりについて」

説明者：長岡京市長 中小路 健吾

3. パネルディスカッション

コーディネーター：及川 清昭 教授

パネリスト：古川 康造さん(高松丸亀町商店街振興組合 理事長)

上村 正美さん(阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 副本部長)

村松 徹也さん(同志社大学施設部、元・京都府建設交通部 技監)

橋本 光夫さん(長岡天神駅周辺まちづくり協議会 会長)

中小路 健吾 (長岡京市長)

■ 内 容

<基調講演>

- ・駅はまちの顔で都市の玄関口となるので、長岡天神らしい駅であるべき。
- ・奇をてらうのではなく、人の動きをデザインし、市民の誇りとなる駅舎が必要ではないか。
- ・駅前広場は交通機能を整理しつつ、市民の交流を促し、来訪者をもてなす役割がある。
- ・歩行者のためには、歩くことを楽しませるデザインと、道幅の適度な狭さも必要ではないか。
- ・まち並みと色彩や素材を統一し、通りにテーマを持たせることも重要。
- ・通りには歩行者が歩いて休んで、くつろげるためのいろいろな仕掛けが必要ではないか。

<テーマ説明>

- ・今年まちづくり協議会の基本構想を受けて、市の考えを持つ重要な段階。
- ・鉄道の立体化方法(高架と地下)を費用負担や技術的、物理的に検討している。
- ・駅前広場はバス停の配置によって4案を検討している。
- ・駅周辺は商業機能や、より使われるものを集約したいとも考えている。
- ・庁舎の建替えが終わる頃から事業着手したい。

<パネルディスカッション>

- ・天神通りとアゼリア通りの間の住宅街は歩きやすく、魅力を感じる。良いところを守りながら、さらに魅力を増す方法を考えてはどうか。

- ・地価が落ち、資産価値がなくなると住民はより便利なところへ移ってしまう。余力のあるうちに次の一手を打つことが重要。
- ・人口が減る中で、この先を見据えて進めないといけない。着実に忍び寄る課題について皆さんと考えたい。
- ・ヨーロッパの街では広場に人が集まるが、日本では、通りや狭い路地に人が集まり賑わうことが多く、駅とまちが渾然一体となるようなまちづくりを考えてはどうか。
- ・岡本駅は駅前の寄り付きは良くないが、お洒落な店がたくさんあって、広場を作ろうという人はいない。喫茶店やケーキを買えるまちの方が良いのではないかな。
- ・郊外に住む人を無理やり中心部に移すことはできない。そのため、「中心部で生活したい」というパラダイムをいかに合理的にスピーディに実現できるかを考える必要がある。
- ・長岡天神駅は没个性的に感じる。駅を降りてどちらへ行けば長岡天満宮かもわからない。自然と長岡天満宮に人が向かう工夫や、個性化があるべきと感じる。
- ・地域のみんなが自分たちの事業だと思うようになることが事業を進める力になる。
- ・どのような素晴らしい計画も地権者の協力がなければ何もできない。
- ・今がどうかではなく、これからどうなるかを市民が考えないといけない。「役所なんとかしろ」ではできない。まちづくりは、現在だけでなく、これから困ることを市民と役所が取り組むもの。
- ・長岡京市はコンパクトなまちなので、特化することで尖った特色が出せるのではないかな。優位性があるのは阪急とJRがあること。沿線で人口がプラスになれば住むところを選ばれる。
- ・カラフルな趣味嗜好が認められる、良いところが伸びる長岡京市になってほしい。
- ・最近では、住民参加でなく、行政参加の時代。主体は市民、次の世代に残すまちづくりを進める必要がある。
- ・机上で議論すれば広場は駅直結になるが、もしかすると少し離れたところに広場があって、その間に商店街などがあることも考えられる。利便性のみを追うと没個性のまちになるのではないかな。
- ・どのように車で駅に近づくかを考えてしまうが、利便性の追求と快適な空間をどう作るかのバランスを考えないといけない。



基調講演の様子



パネルディスカッションの様子

■ パネルディスカッション質問書

受付数：35件

質問・意見の細分類（延べ66件）

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| ①立体交差の整備時期(7件) | ②立体交差の必要性(2件) | ③立体交差の景観(2件) |
| ④駅前広場(14件) | ⑤駅舎(5件) | ⑥バリアフリー(3件) |
| ⑦長岡京らしさ(6件) | ⑧高架下の活用(2件) | ⑨土地利用(4件) |
| ⑩周辺整備(4件) | ⑪歩行者の安全性(4件) | ⑫建物移転補償(5件) |
| ⑬その他(8件) | | |

おもな意見

- ① ・街路のデザイン、高架化の利用、街の賑わい創出にも配慮した素晴らしい駅を。
- ② ・多くの方が不便と危険性(踏切)を口にしていてと思うが実際進まないのは不要ということ？
- ③ 「基本計画」を作れば本当に実施するの？
- ④ ・問題は期間と費用、機能面最大重視、シンプルに対処するのがよいと思う。早く安く。
- ⑤ ・朝夕の送迎の混雑を解消するための莫大な経費投入はいかがか？
- ⑥ ・長岡天満宮の鳥居から東を見た時に高架が見えるのは望ましくない。
- ⑦ ・車用のロータリーは駅から少し離れた場所に設置する。
- ⑧ ・阪急長岡天神駅出入口を二カ所作ってほしい。街が二方向へ発展してゆく。
- ⑨ ・駅前に待ち合わせなどの機能(カフェ、ベンチ等)がもっと必要では。
- ⑩ ・駅舎、竹を活用したデザインを。
- ⑪ ・高齢者・障害者にとっては広場が大きくなればなるほどアプローチの距離が長くなる。
- ⑫ ・乙訓3市町の中で本市だけが持つ各特徴、1 長岡天満宮、2 音楽の街などを打ち出せたら。
- ⑬ ・ツツジを駅周辺の空間に植えて道路の導線の誘導だけでなく景観にもよい。
- ⑭ ・観光客を多く呼ぶのと各種行事や社寺を巡る目的で訪れる方が安心して泊れるホテル。
- ⑮ ・「住宅地」としての機能を特に重視する街にしてはどうか。
- ⑯ ・過去に都計決定されていた土地区画整理事業の目的は何だったのか。
- ⑰ ・駅周辺の建物や土地の持ち主からの了承は得られるのでしょうか。
- ⑱ ・8万人の街にして、JR 駅(周辺)との重複した設備(開発)は重い。
- ⑲ ・人口減少の社会の中で、まちとしての存続の仕方はどう考えていけばいいのでしょうか。

阪急長岡天神駅周辺まちづくりを考えるシンポジウム

パネルディスカッションの議論用 質問書

シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日、中小路市長より「長岡天神駅周辺まちづくり」について計画の説明をさせていただきます。

計画説明を聞いていただき、疑問に思われたことやご提案などがございましたら、この質問書にご記入ください。

ご記入いただいた内容をもとに、本日のパネルディスカッションで議論させていただきますので、是非、ご意見をお聞かせ願えれば幸いです。

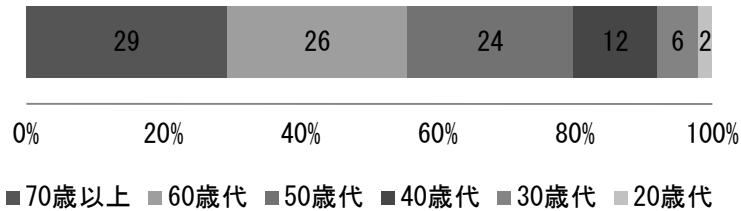
(ご質問)

※ 計画説明後の休憩時に「質問書回答箱」に入れてください。

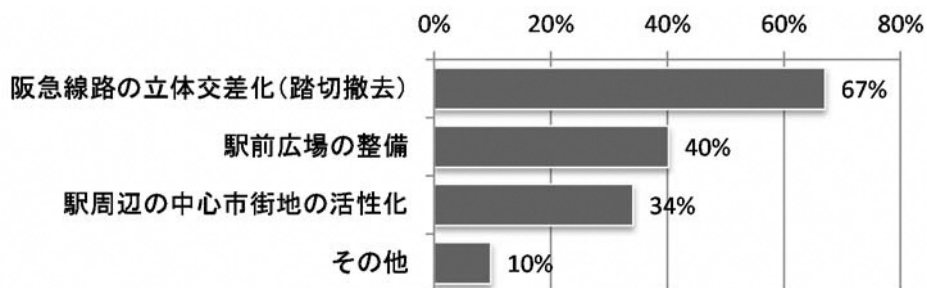
■ 参加者アンケート

回答者数 : 82件

①回答者の年齢構成

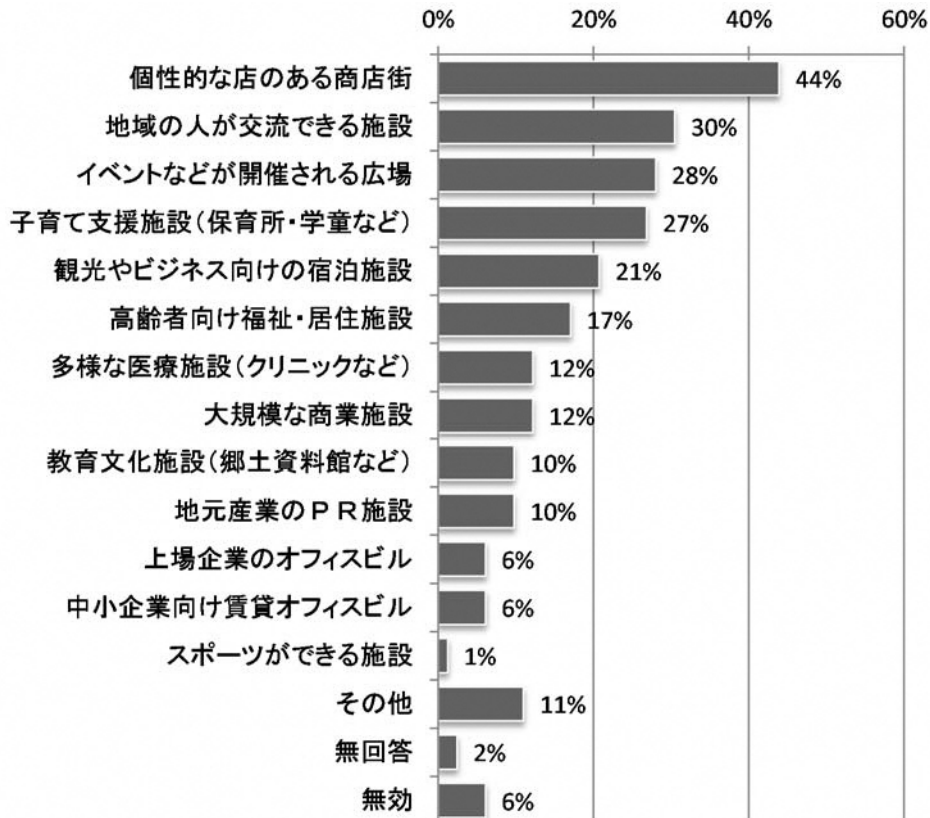


②駅周辺整備で重点的に取り組むべきと考えることは？



その他 : 選ぶのが難しい、歩道の整備、公共交通の連携(JR、阪急、バス)、観光のための賑わい創出など

③長岡京の活性化のため、長岡天神駅付近に必要な施設は？



④自由意見(82件中53の記述)

- 分類： ①まちづくりの方向(18件) ②立体交差化(11件) ③駅前広場(8件)
④土地利用(4件) ⑤周辺道路(1件) ⑥シンポジウム(5件)

おもな意見

- ①
- ・長岡天満宮周辺の参道まち並みづくりと商店、駅東側へは住民を集約させた公共施設を中心としたまちづくり等にしてほしい。
 - ・将来的には東西方向の移動手段が必要では。伏見、宇治、城陽、亀岡地域との連携。
 - ・とがったアイデアのために在住歴の浅い市民(特に若い子育て世代)の意見をよく反映すべき、長岡に魅力を感じ、全く地縁のない子育て家族もたくさん他所から移住している。
 - ・収益事業もできるような会社もつくってうけながら建設していけるような仕組みをつくることはできないだろうか。
 - ・「長岡天神らしさ」があるとしたら歴史・文化といった抽象的なデザインより人と人が大切に市民本位の駅前にしてほしい。
 - ・長岡京らしさを出すとは言うものの、それを形にするのは難しいですし、未来にたくすという観点からも大きな責任を感じる。
 - ・バリアフリー、子育て世代への配慮、観光戦略も含めて魅力的なまちづくりに向けて市民が自ら発進していく必要があると思った。
- ②
- ・JR 長岡京と阪急長岡天神を総合にまとめた町づくりがあっても良いのではないかな。
 - ・まちづくり＝田畑や緑がなくなるというイメージ。そうならないようにお願いします。
 - ・踏切賛成ですが待つところに緑を植える等配慮すれば良いと思います。踏切が悪なのかも一度考えていただきたいです。
 - ・今は道が狭く踏切が開いて交通が再開した時は危険を感じる。安全第一をするならば立体交差化と歩道の整備(道の拡幅)を最優先にすべき。
 - ・駅前広場が単に車の乗降に使われるのではなく長岡天満宮に観光に来た方に、また住民に親しまれる広場となることを希望します。
- ③
- ・駅前広場に直結していない整備によって逆に賑わいを生み出している。事例なども知ることができて活発なパネルディスカッションは大変勉強になりました。
 - ・駅前以外に広場を設ける発想はありませんでした。快適に歩ける 600mの区間をつくる取り組みは面白い。
- ⑥
- ・もう少し若い方の意見が入るような仕組みを考えるべきだと思う。
 - ・いろんな意見をきけておもしろかったです。次回以降もこのようなシンポジウムがあれば是非参加していきたいです。
 - ・市長の説明と情報公開の内容、大変よくわかりました。今後もこの方針で取り組んでもらえればと思います。
- その他
- ・中心市街地の活性化を図ろうとする事業者、地権者などの方々の熱意が肝要。
 - ・非常に重たい問題ですが話し合いを重ねて乗り越えられたらと思います。

阪急長岡天神駅周辺まちづくりを考えるシンポジウム アンケート

本日は「どうする!?ながてん 阪急長岡天神駅周辺まちづくりを考えるシンポジウム」へのご参加、ありがとうございました。シンポジウムでの討議も含め、長岡天神駅周辺まちづくりへのお考えをお聞かせください。

1. あなたご自身について(該当する方に○をお付けください)

①居住地

長岡京市内	長岡京市外
-------	-------

②性別

男	女
---	---

③年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
-------	------	------	------	------	------	-------

2. 駅周辺整備で重点的に取り組むべきと考えることは何ですか?(該当する番号に○)

1	駅周辺の中心市街地の活性化
2	駅前広場の整備
3	阪急線路の立体交差化(踏切撤去)
4	その他()

3. 長岡京の活性化のため、長岡天神駅付近に必要な施設は何ですか?(該当する番号**3つまで**○)

1	多様な医療施設(クリニックなど)	8	上場企業のオフィスビル
2	子育て支援施設(保育所・学童など)	9	中小企業向け賃貸オフィスビル
3	高齢者向け福祉・居住施設	10	教育文化施設(郷土資料館など)
4	大規模な商業施設	11	地域の人交流できる施設
5	個性的な店のある商店街	12	スポーツができる施設
6	観光やビジネス向けの宿泊施設	13	地元産業のPR施設
7	イベントなどが開催される広場	14	その他()

4. 今後、具体的な整備計画を作成する際に、説明会やワークショップ等があれば参加したいと思われませんか?(該当する方に○)

回答 ⇒ 参加したい ・ 興味がない

5. 問4で「参加したい」と回答された方にお聞きします。関心のあるテーマは何ですか?(該当する番号に○)

1	駅周辺の中心市街地の活性化
2	駅前広場の整備
3	阪急線路の立体交差化(踏切撤去)
4	その他()

6. 長岡天神駅周辺のまちづくりについて、ご意見があればお聞かせください。

～～ ご協力ありがとうございました ～～

ご記入後のアンケート用紙は受付の回収箱にお入れください。